医療ＢＣＰ策定後のフォローアップ

事業継続マネジメント及び研修

脅威を遠ざけるＢＣＭ

リスク感度・危機対応力・目標志向型

文書としてのBCPは雛型の穴埋めでも作成できますが、非常時対応に役立つのか不安が残りませんか。
計画(BCP)はマネジメント(BCM)が併用されて実行可能性を高めますが、BCMは容易な仕事ではありません。
私たちは危機意識を醸成し、リスク感度を高め、対応力向上に資する研修や演習などを提案しています。
計画と実行力の乖離を無くし、実行力に合わせて計画を見直すお手伝いをしています。

サービス事例（形式や内容は調整できます）

座学型講義

ＢＣＰや非常事態に関する講義です。医療安全研修の一環としてご依頼頂くケースもあります。
現地対面・リモート両対応、質疑応答やグループワーク併用などご要望を承ります。

ワークショップ

４～6人程度のグループに分かれてワークをして頂きます。
例えば『2時間以内に100人分の給食を調達』というお題に対して各班で対応策を検討、発表して頂き知見を分かち合います。

図上演習

進行役が被災状況などを提示し、実行役は対応や行動を話合います。
随時新しい指示が出され、刻々と状況変化する中での対応力を磨きます。想定外を減らし対処法の選択肢を増やす演習です。

マネジャー支援

ＢＣＰの策定や見直し、マネジメントをサポートします。備蓄や設備の状況把握、職種や業者別の現況など調査や検討をお手伝いします。
ＢＣＰは集団離職や資金ショートなどを脅威とする場合もありますが、多くは災害等を対象とします。医療安全(患者安全)や感染制御は個人の努力も防止策となりますが、災害を防ぐ事はできません。発災直後から多忙化する医療を、脅威から遠ざけるマネジメント業務に並走します。

講演・講義の実例

病院のBCPの基礎 ～目標志向で非常事態を乗り越える医療BCP～	第49回日本医療福祉設備学会	2020年
BCPの基本的な考え方 ～病院で働く者としての基礎知識～	国立病院機構宇多野病院	2020年
臨床工学部門におけるBCPの策定	全国自治体病院協議会	2020年
現状把握に基づく目標志向型の透析BCP	Osaka Southern Network	2020年
BCPの策定・見直しで顕在化する災害時臨床ニーズ発掘の可能性	京都府臨床工学技士会	2020年

一般演題(学会発表)の実例

BCPの実行性向上を目指したGOA(目標志向行動)基調の戦略策定	第23回日本医療マネジメント学会	2021年
停電3日間で検証された療養住環境強靭化のための在宅医療BCP	第48回日本医療福祉設備学会	2019年

事業継続マネジメント・研修

脅威評価と対応強化

脅威の評価

脅威とは危害を生む事象です。総論として地震は脅威ですが、断水や停電など各論にも注目すべきです。
例えば、地震が外来診療の脅威になるか評価する場合、発災時刻や曜日を変更すると結果に影響します。停電と人工呼吸器を評価する場合も同様に、同じ病院内であってもICUと療養病床では異なるでしょう。
当社では独自に実験する事もあります。停電と冷凍庫の関係を調査した結果、開閉しなければ1～2日は0℃付近を保ちました。すなわち、数時間の停電は冷凍庫にとって脅威ではない可能性が示唆されました。
初めてのＢＣＰ策定では漠然としがちですが、脅威を精査するこでＢＣＰはリアリティを増します。

危害最小化と事業継続

海底火山と富士山の噴火、いずれもハザード(危害要因)ではありますが、脅威評価すれば富士山噴火のリスク(危害)が過大と出るでしょう。すなわち、危害が及ばなければ脅威ではなくなる訳です。
消火訓練や避難訓練を繰り返すのは、危害を最小化する狙いがあります。対応力を磨くリスクマネジメントです。それ以前に、危害の芽となるハザードを見つけて摘み取れれば、さらに危害を遠ざけられます。
BCPでは脅威を定義します。全職員でリスクを想定し、1つでも多くの対応策を習得すれば危害が減る可能性があります。事業継続の妨げとなる危害を減らすための人材育成が求められます。

秩序と良心に基づくGOA

業務標準化はミス低減や再発防止、途中交代の円滑化、物品共通化など業務効率や安全性が向上します。
阻害要因が多重化する非常事態をすべて網羅するマニュアル整備は容易でなく、都度参照する余裕もありません。そこで当社では目標志向活動(GOA: goal-oriented action)を推進しています。
喀痰吸引器が使えなくても『痰を取る』ことはできます。標準業務手順は逸脱しても結果は得られます。
自己判断の範疇、リスク＆ベネフィット、代替手段の選択肢、演習を繰り返す事で関係者で共有する事ができます。指示待ちの余裕がない非常時、自信を持って自己判断できる環境づくりが求められます。

自律的活動と創造的連携

平時の医療では薬剤・ＭＥ・給食などは専門分化されますが、非常時には物資班として包括する方法があります。職種や年齢性別などの属性ではなく、目標志向で人員を配置し、不足するリソースを補います。
業務が可視化されていれば他職種でも『私にもできる』『その時間は人を集めよう』と能動的に支援しやすくなります。院内での連携が指示や命令による物ではなく、自発的な連携が創造されやすくなります。
時系列で予定・実績を管理するクロノロジー(chronology)は、院内での受援要請にも応用できます。文字や図画などの視覚的情報共有に慣れるトレーニングと、声を掛け合える人間関係が重要になります。

提供プラン

単回　一度きり、あるいは一回ずつ個別にサービスを提供させて頂くプランです。講義などは単回で完了する事が多いためスポットコンサルティングのご利用が多くなっています。何度か試してから継続を判断したい、防災訓練のときだけ使いたい、制作したＢＣＰを見て欲しいなど、ご事情に合わせて対応しています。

継続　期間や業務を区切ってご契約頂くプランです。『これが終わるまでお願いしたい』『定例会議に同席して欲しい』『年４回の院内研修の企画と講師を任せたい』など様々なご依頼内容に応じます。業務範疇ならば職員様からのメールや電話による相談も随時受け付けております。貴院の相談役や参謀役としてお使いいただけます。

当社の強みは現場経験、そして現場志向です。
臨床工学技士や電気工事士として働き、医療安全や医療機器安全管理の実務を経験し、災害対策を研究してきました。
DMAT等の災害医療とは異なり、市中の医療機関の『災害時の医療』について研究しています。被災地訪問や当事者インタビュー等を重ね、対応策の充実を図っています。

発売元
ＮＥＳ株式会社（エヌイーエス）
所在地　兵庫県伊丹市野間5-10-13
ＵＲＬ　https:// 24med365.net
メール　info@ 24med365.net
登録電気工事業者
兵庫県 第300333号